

さいたま市障害者社会参加推進センターだより



ぱらネット

第18号



楽しくなければ効果はない!?

平成21年度 さいたま市
社会参加推進センター事業



私たちの思いを込めた 障害者社会参加推進事業

3月に事業の報告書を提出すると、担当者の頭の中には新しい事業が芽を出しています。4月に計画書を掲げて事業委員会で検討して、あわただしい一年が始まります。忙しいなあー。でも期待を寄せて集まってくださる大勢の方々を見ると、いい一年だったと思う私たちなのです。

精神的適応力を 高めるための サイコドラマ

精神障がい者当事者会
ウイズ

稲葉 晃

去る平成二十二年二月十一日
建国記念の日、浦和ふれあい館
第一会議室に於いて増野肇ル
テル学院大学教授を講師として
お招きし、家族教室「共に作る
うみんなの輪パートⅡ」が開催
されました。

そこでは増野肇氏によるサイ
コドラマというものが展開され
ました。サイコドラマとは演劇
の即興の手法を用いた集団精神
療法です。これまで主に精神を
病んだ人々の治療法という位置
づけで、臨床や学術的な場を中
心に開催されてきました。しか
し、社会が様々な問題で病み苦
しむ時代にあつては、自発性や
創造性、精神的適応力を高め育
む手法として大きな可能性を秘
めています。

さて、当日は当事者ばかりで
なく学生の方や家族会の方、支
援者の方等たくさんの方が参加
され盛大に開催されました。私
はいえ十時にふれあい館に
到着し、仲間と食事をし、会場
の設営をして増野氏の到着を待
ちました。演技者として参加す
る事になっていたので何をさせ
られるんだろうと内心ドキドキ
していました。



サイコドラマについて語る増野先生

そしていよいよ時間になりサ
イコドラマの始まりです。サイ
コドラマには基本的に3つのプ
ロセスがあります。1、ウォー
ミングアップ 2、サイコドラ
マの展開 3、シェアリングで
す。まずウォーミングアップで
す。増野氏の人柄もありほのぼ
のムードの中で展開されていき
ました。印象に残っているのは
増野氏の「あるがままでいい」
というものでした。緊張するな
ら緊張したままでいい。緊張を
解こうとするから余計緊張する
というのです。ウォーミングア
ップが進み私の心と体は緊張状
態からリラックス状態になりま
した。そしてサイコドラマの展
開では「不思議なレストラン」
というのが行なわれました。最
後にシェアリングです。シェア
リングとはひとつのサイコドラ
マが終了した時点で参加者で感
想を分かち合う過程です。

有意義な時間をありがとうございました。

初めての体験 家族教室の取り組み

障害者(児)の生活と権利を守るさいたま市民の会

平林 彰

さいたま市民の会では、障害者社会参加推進事業の「家族教室」の開催に取り組み、昨年十二月十二日に行ないました。

テーマの「家族の危機！」その時、障害者・家族の生活を守るには〃という問題は、仲間の親たちが集るといつも出てくる

創意工夫を凝らして

さいたま市障害福祉課

課長補佐 新井 義博

障害福祉課に昨年の四月より異動してまいりましたが、早いもので一年が経過しようとしています。この間、障害者社会参加推進センターに業務を委託している「障害者週間記念事業」「生活訓練等事業」等の実行委員会を始め、事業に参加して感

話題で、体験者のリレートークと講演という構成にしました。リレートークは二人の方にお

願いしましたが、お母さん方の抱えている大きな問題の一つが、正に「家族の危機 わが家の場合」であることが話されました。いくつかの事例の中で、お父さんが急死されたので、障害のある子のショートステイをお願いしたが対応してもらえず、普通に葬儀をしてあげられなかったことが切ないという話

じた印象は、どの事業も、各障害者団体はもとより、市民の方々が、大変真剣に参加されているということ。なによりも大切なことは、これらの事業を通じて、障害者の理解及び社会参加の促進につながることを考えております。

今後これら事業の継続はもとより、更なる発展のためにはどうするべきかを考えていきたいと思います。

などは、「危機」に対し安心できる制度がいかに不十分かを証明するような事例です。

講演では「障害者の生活を守る法制度の今」をテーマに、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会・事務局長の白沢仁氏に話をしてもらいました。

氏は、鳩山連立新政権の下での障害者自立支援法廃止等の行方について、「当事者が参加し、五年後を目途に、法制度を変えられる状況がつけられた」と評

残念ながら予算には限りがございますが、今年度の運営をいっしょにさせていただいた限り、各障害者団体がそれぞれ創意工夫を凝らして、素晴らしい事業になっていきたいと思います。

障害福祉課といたしまして、これらの事業を今後とも継続して行うよう考えておりますので、引き続き皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。

価しながら、障害者の自立と親亡き後の生活保障を実現していく上で「私たちのことを私たち抜きで決めないで！」と声を上げながら実現に近づけていくことが大事、と強調されました。初めての取り組みで、参加者を目標の半数しか集められなかったことが、大きな反省点ですが、内容については好評を得ることが出来ました。企画実行委員の方々と、市障害者協議会事務局の力強いご支援をいただき、心より感謝いたします。



手話って楽しい!

十二回の講座を終えて

さいたま市難聴者・中途
失聴者協会

池澤 五郎

昨年が続いて二十一年度も家族教室の一環として手話教室が浦和コミセン（パルコ十階）を主会場にして開かれました。市報にも開催案内が掲載され広範な市民の皆さんの参加が得られました。ただ、初めて手話を学ぶ人や、すでに初級を終わっている人など、手話を学ぶ水準が一定ではないということが、これからの課題としては残りましました。

それは、それとして、参加した皆さんの声は、講師の先生が愉快的な教え方だったので、ほんとうに楽しかったですね、ということでした。各回ごとにプリントが配られ、それに添った手話表現の学習や復習などもあり、都合で休んでも分る様な先生の配慮がうれしかった、など

の声もありました。

手話は、手ぶり、顔ぶり?

身ぶりなど、体全部を使って表現する言語だと言われていますが、なかなかそれが出来ないのが本当のところ。今回の講師の先生は、その「ふり」を見事に表現なさっていて、受講生の笑い声が絶えない和やかで楽しい教室だったという声が多数でした。楽しい雰囲気の中で学んだ手話は、必ずや受講生の皆さん



高見盛関そっくり?の村山先生



の脳裡に息づくと思います。

今回の講師、村山研介氏は大相撲の高見盛関に雰囲気似ている印象を私は持ちました。先生の手話表現が高見盛関の気合い入れ（土俵上の）の様に思えたのです。高見盛に大勢のファンが声援を送っていますが、今回の受講生の皆さんも、村山先生に相撲ファンの親しみを感じたのではないのでしょうか。

手話は難しい、すぐ忘れてしまうという声も聞かれます。でも本当は楽しい言葉なのです。

講師を始め、市、関係諸団体の皆さんに、またの機会を願って終ります。

障害があっても

楽しめる

生涯スポーツ・レクを

NPO法人さいたま市
障害難病団体協議会

渡邊 シヅ子

平成二十一年度生活訓練は、幼児から高齢者、障害があっても気軽に親しむことができる、勝敗のみを競うのではない遊戯性を重視した、生涯スポーツをを目指す『たのしいスポーツレクリエーションのつどい』として八月二十二日(土)、残暑厳しい午後の二時間、与野本町コミュニティセンター多目的ルーム(大)に失聴者、視覚障害者情報保障もお願いして、車椅子や杖使用の障害者、一般の家族、若者たちも加わり開催されました。

広い会場には、埼玉県障害者交流センターの協力で6種類(囲碁ボール、カーリング、オ



上 車いすでもできるカーリング

ーバルボール、スカットボール、フライングディスク、ボックス（ホッケー）の用具が設えられ、スポーツ指導員と同、ボランティアが各々を担当、ルールの説明と模範演技がありました。

参集のみなさんは、興味津々、思いおもいの種目に真剣な面持ちで挑戦、「全種目制覇」を目標に取り組む様子がみられました。



右 囲碁ボール

フライングディスクでは、思うように「的」を射抜けない事態に何度も挑み熱中する姿も微

笑ましく、あちらこちらで拍手や歓声も聞かれ、盛り上がりました。

事業「ゆずり葉映画製作について」が実施されました。参加者は約一二〇名でした。

スポーツレクリエーション（スポレク）は、これらの他、室内・屋外向けに様々な創意工夫された種目が用意されています。

今回、新型インフルエンザ対策で中止した「吹き矢」も体験したい人気の種目です。

全国に広がりを見せるというスポーツレクリエーションを通して集中して出来る事への自信と人々との交流、円滑なコミュニケーションが図られ、生きがいとなる機会と場が身近に増えるよう願っています。

関係団体挨拶の後、「ゆずり葉」映画監督の早瀬憲太郎氏の講演が始まりました。講演は、早瀬氏と本会の横島義博理事とのトーク形式で行われました。

早瀬氏から、映画製作のきっかけや脚本作り、キャスティングなど監督としての苦労話を聞くことができました。

私たち聴覚障害者は、自動車運転免許や職業資格取得の道が閉ざされていました。ですが、長年のろう運動と多くの支援により、現在、運転免許、医師、薬剤師等の資格取得が可能になりました。ですが、私たちの社会への「完全参加と平等」の実現のため、今後も聴覚障害についての啓発活動に取り組まなければなりません。「ゆずり葉」は聴覚障害者の過去、現在、未来が描かれています。早瀬氏から、「ろう運動を知らない若い

映画「ゆずり葉」によせて

さいたま市聴覚障害者協会
牧野 悦子

一月十七日の午前十時から、さいたま市産業文化センターホールにて、さいたま市障害者社会参加推進センターの生活訓練

から、「ろう運動を知らない若い

早瀬監督(右)と横島さんのトーク



聴覚障害者、市民、手話を学ぶ人等、たくさんの人たちに観ていただき、聴覚障害に対する理解が広がってほしい」との話がありました。

実は、この時、私はまだ「ゆずり葉」を観ていませんでした。早瀬氏の話を聞いて、絶対観たいと強く思いました。

講演は、横島理事が早瀬氏から楽しい話もたくさん引き出し

てくれて、参加者からは爆笑もありました。

この日の午後、本会・市手話通訳問題研究会・市手話サークル連絡協議会の企画で「ゆずり葉」上映会があり、私もやってみました。早瀬氏のお話通り、素晴らしい映画でした。ぜひ、たくさんの人たちに観ていただきたいと思いました。

市民健康講座 マッサージに いやされて

特定非営利活動法人
さいたま市視覚障害者福祉協会

長谷川 一郎

昨年十二月六日(日)与野本町コミュニティセンター多目的ルーム(大)において、さいたま市社会参加推進センター、さいたま市障害者協会および、さいたま市視覚障害者福祉協会が協力し、生活訓練事業の一環として市民健康講座を開催致しました。

スタッフ一同は、午前十一時

山口勇先生のお話をきく人たち



に集合し会場作りとミーティングを行いました。

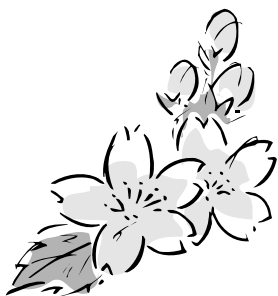
当日は天候にも恵まれ、会場には百人あまりの市民の皆さんが来場され、午後一時より主催者および来賓の挨拶に続いて講師にお迎えした理学療法士山口勇先生による「加齢にともなう膝関節症の予防とその治療」を

テーマに、一時間あまりの講演の後、質疑応答、会場からは大変活発な質問がありました。先生は一つひとつ丁寧に答えておりました。

その後、休憩を挟んで二時四十分よりさいたま市視覚障害者福祉協会会員十三名のあはき免許取得者の協力を得て午後四時まで来場された方々には、マッサージや鍼治療の体験をしていただきました。

来場された方々には非常に好評でこれからのような機会を計画して欲しいとの要望が多数寄せられました。

終わりに、この事業にご協力いただいた関係者、並びにボランティアの皆様に心より厚く御礼申し上げます。健康講座の報告とさせていただきます。



平成21年度 社会参加推進センター開催事業 報告

事業名	開催日／場所	参加者数	テーマ・内容等
生活訓練開催事業 (身体)	8月22日(土) 与野本町コミュニティセンター 多目的ルーム(大)	96名	「スポーツレクリエーション」 ボックスホッケー、囲碁ボール、カーリング等のスポーツをみんなで楽しんだ。
家族教室開催事業 (身体)	8/29、9/5・19日、10/3・17・31日、11/7・21日、12/5・19日、 22年1/9・23日(全て土曜日) 全12回 浦和コミュニティセンター他	全12回 のべ 429名	「さいたま市手話教室」手話の実技指導と難聴者の特別講演 家族間の円滑なコミュニケーションを図るため基礎程度の手話の学習を12回行なった。
家族教室開催事業 (精神)	10月4日(日) 浦和コミュニティセンター 第15集会室	107名	「精神科の適切な治療と服薬」 ①「精神科の薬について学びましょう」 講師：桜ヶ丘記念病院 佐藤康一先生(薬剤師) ②「統合失調症のお薬とのつきあい方」
家族教室開催事業 (知的)	10月22日(木) 埼玉県障害者交流センター ホール	83名	「子どもを遺すとき…「成年後見制度」金銭管理を考えよう」 精神障害のある方の体験発表と講演 講師：山本社会福祉士事務所 山本 進氏
家族教室開催事業 (身体)	10月24日(土) 与野本町コミュニティセンター 第1・2会議室	58名	「より良く食べるはより良く生きる」 口腔ケアの講演、実技指導 講師：埼玉県保険医協会副理事長 金子歯科診療所院長 金子久章先生
「障害者週間」 市民の集い	11月28日(土) 与野本町コミュニティセンター	440名	「障害者週間」を記念して広く障害のある人もない人も一緒に楽しむ催しです 市セレモニー、障害者作品展、講演(トークライブ)、舞踊、音楽演奏、授産品の販売、手話講座、幻覚・幻聴マシーン、車いす体験など。
生活訓練開催事業 (身体)	12月6日(日) 与野本町コミュニティセンター 多目的ルーム(大)	100名	「さいたま市民健康講座」 ①講演 理学療法士 山口 勇先生 「加齢に伴う膝関節症の予防とその治療について」 ②マッサージ、鍼の無料施術と健康相談を行なった。
家族教室開催事業 (身体)	12月12日(土) 与野本町コミュニティセンター 第3・4会議室	33名	「障害者家族の生き方」 ①リレートーク「家族の危機、わが家の場合」 ②講演：障全協事務局長 白沢 仁氏 「障害者の生活を守る法制度の今」
生活訓練開催事業 (身体)	12月13日(日) 鈴谷公民館 和室	25名	「身体をとおしたコミュニケーションⅡ」 講師：春木 豊氏 (県立川島ひばりが丘特別支援学校教諭) 動作法を基に、講演と実技を行なった。
生活訓練開催事業 (身体)	22年1月17日(日) さいたま市産業文化センター ホール	119名	「ゆずり葉 映画製作について」 (財)全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画 講師：「ゆずり葉」監督 早瀬 憲太郎氏 映画製作の苦労話
生活訓練開催事業 (精神)	22年2月11日(祝) 浦和ふれあい館第一会議室	70名	「共に作ろうみんなの輪パートⅡ」 講師 増野 肇氏 ルーテル学院大学教授 サイコドラマ教室…全員参加型の精神対症療法の実技
生活訓練開催事業 (身体)	2月28日(日) 浦和ふれあい館	135名	「オストメイトのための医療講習会／補装具展示会」 ①「手術の後遺症とその対処法」 講師：中條 洋氏 社会保険大宮総合病院泌尿器科部長 ②訪問看護の現場から ET 沼田 美幸氏

筋ジストロフィーの当事者として

(社)埼玉県筋ジストロフィー協会さいたま支部

渡邊 郁江

筋ジストロフィー症には、種々な病型があり症状もそれぞれ違いがあります。その中で一番多いデュシエンヌ型は、筋細胞の形を保つタンパク質「ジストロフィン」が遺伝子変異のため作られず、筋力の低下や筋萎縮が起こり、その後、重症な経過をたどります。私は二十九年前にその患者の十四歳の長男を亡くしました。小学入学式の時は歩いていましたが卒業式では車椅子になっていました。晴れ晴れした顔で校長先生から卒業証書を

いただく姿は、今も鮮明に思い出され、涙してしまいます。中学も長男の希望通りの普通校に入學でき、勉學に励んでいました。が中学一年の三月に私が腰を痛め動けなくなり入院することにになりました。二年生の四月より専門病院の国立東埼玉病院に入院し、県立蓮田養護学校へ転校しました。そして変わった環境にやっとなりに慣れてきたという二年生の三月に亡くなってしまいました。十四歳という短い人生でしたが、学校の先生方、学友や、病院関係者、地域の方々の暖かい理解をいただき、中身の濃い人生を送れたと、今でも感謝しています。親子の別れは本当に

悲しいものでしたが、長男の分まで懸命に生きて行くことと考え、東京いのちの電話、団体の難病相談員、障害者のボランティア活動などと関わりながら、五十七歳で管理栄養士に挑戦し合格、栄養士関係の仕事とボランティア活動にと充実した毎日でした。ところが、私は、長男の母親つまり保因者ということ、六十歳頃からは、保因者にたまに出現するといわれている症状が出現し、現在、立ち上がりや困難で歩行も危なくなり、夫の介助を受け、外出は車椅子を利用しています。これまでの活動から離れ、現在、週二回デイサービスを利用し、軽い運動をし、症状の進行を抑えるよう努めています。

今後は、皆様とご一緒に、障害

者、患者当事者として、医療のみならず、福祉、教育、就労など、よりよい幸せな生活の実現に向けて、運動を続けていきたいと思っています。そして、何事も前向きに過ごすことを忘れずに。

事務局だより



十一月から縁がありまして、こちらで働かせていただくことになりました。北海道の帯広の出身で、結婚を機にさいたまに住むことになり十八年経とうとしています。さいたまで過ごす時間の方が長くなるようにしています。

障害者団体や社会福祉についての知識が全くなく、知らない言葉が飛び交い戸惑うことばかりで日々勉強しております。

皆さんのパワーには驚くことが多い、ネガティブがちな私は皆さんからエネルギーを注入してもらって感謝しています。早く仕事になれ、皆さんのお役にたてるよう努力していきたいと思っています。

今後ともよろしく願います。

松澤 雄子

発行 さいたま市障害者

社会参加推進センター

〒333-0801

さいたま市大宮区土手町

一・二二二一

大宮ふれあい福祉センター4F

TEL 〇四八・六五三・七二七一

FAX 〇四八・六五三・七三四一

http://www.saitama-planet.com/

e-mail saitamacity-handynet@

bz03.plala.or.jp

発行・編集人 浅輪 田鶴子

リレートーク わたしはわたし



渡邊郁江さんプロフィール

1938年12月23日生

夫と二人暮らし、夫の介護に感謝

趣味：簡単料理のレシピ作り、木目込み等手芸

孫の小学5年と2年、幼稚園年長の3兄弟の成長が楽しみ。